

11701自動車整備業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	8 ～ 9	敷地内駐車場で、私有車から降りた際、凍結した路面で滑り、右肩腱板損傷を負った。	36	2	417	30 ～ 49
2	2020	1	11 ～ 12	車両駐車場で、洗車作業を行う車両を移動するため歩行中、凍結している路面で足が滑って転倒し、左手首付近を骨折した。	57	2	719	30 ～ 49
3	2020	1	14 ～ 15	洗車場で、洗車をしようとしていたときに、地面がアイスバーンになっていたため、足を滑らせて腰（臀部）を強打し、骨折した。	63	2	719	1～ 9
4	2020	1	11 ～ 12	自社工場内で自動車部品交換の際、部品が外れず、ドライバーで負荷を掛けていたところ、部品が破損して顔に飛んできて、目を負傷した。	51	4	364	1～ 9
5	2020	1	8 ～ 9	バス車内の運転席と運賃精算機の間不具合があり、修理のため運賃精算機を避けようと体をひねった際、背中に激痛が走り、背部と右肋骨に挫傷を負った。	31	19	921	10 ～ 29
6	2020	1	16 ～ 17	作業場で、トラック整備のためトラック前側を上げた状態で当該トラックの下に入ろうとしたところ、突起部分に頭部を強打し挫創を負った。	25	3	221	1～ 9
7	2020	1	11 ～	作業場でジャッキアップした車両の下に寝板（キャスター付の板）で入り、作業をしていた。その際、体の向きを変えようと左手を伸	50	7	231	1～

			12	ばしたとき、異音確認のためエンジン始動状態だったファンベルト部分に巻き込まれ、左手の人差し指と親指を骨折した。					9
8	2020	1	15 ～ 16	工場内で脚立に乗って洗車中、足を滑らせて転落し右膝十字靭帯を損傷した。	45	1	371		1～ 9
9	2020	1	13 ～ 14	工場内でタンクトレーラーの塗装前マスキング作業をしていた際、高さ1.9mのステップ上で足を踏み外して床へ転落し、肋骨と手首を骨折した。	69	1	221		10 ～ 29
10	2020	1	18 ～ 19	工場内の休憩室に入る際、転倒して左膝蓋骨を折った。	59	2	417		1～ 9
11	2020	2	10 ～ 11	自動車板金工場内で、磨いた後の床を歩いている際、足を滑らせて転び、腰、背中を床に打ち、むち打ちを発症した。	31	2	417		1～ 9
12	2020	2	15 ～ 16	会社敷地入口のスロープで、お客様出庫誘導後に店舗へ戻るとき、めまいを感じ出入口チェーンポール収納時の突起部につまずいて、店舗入口の段差部へ転倒した。その際、右鎖骨にヒビおよび下唇等に裂創を負い、膝を打撲した。	49	2	418		30 ～ 49
13	2020	2	9 ～ 10	タンクローリーの点検でエンジンオイル滲みがあったため、パーツクリーナーで洗浄しエンジンを回し点検をした。その際、エンジンを回して危険な状態にあるときは、可燃物を火気から遠ざける指示があったにもかかわらず、パーツクリーナーを持ったままエンジンを覗き込んでしまい、エンジンの奥にある温水モーターの電極にパーツクリーナーが当たり、ショートすると同時に引火し、顔・右前腕に熱傷を負った。	29	11	221		10 ～ 29
14	2020	2	13 ～ 14	工場内で修理車の部品（ラジエター）の取り替えをして、取付状態の確認中にラジエターのファンが左手に当たり、左手小指の第一関節を切断した。	51	7	231		10 ～ 29

15	2020	2	10 ～ 11	工場内でコンクリートポンプ車の車体上部（高さ14m）にて封水タンクカバーを取り外す際、腰をおろし勢いをつけて引っ張ったところ、先が外れ後ろ向きに体勢を崩し、右肩から足場台（高0.65m）に右側頭部から地面に落下し、右鎖骨骨幹部を折った。	42	1	221	10 ～ 29
16	2020	2	8 ～ 9	自社工場内で、脚立を使用して自動車洗車作業中、脚立から降りる際に足を踏み外して転倒し、背骨にヒビが入った。	45	1	371	1～ 9
17	2020	3	16 ～ 17	会社敷地内を歩行中、後ろを向こうと方向転換しようとした際、足をひねって右足小指を骨折した。	40	19	921	1～ 9
18	2020	3	16 ～ 17	脚立の上にビール瓶の空箱を載せ、その上に乗って作業（塗装）をしていたところ、バランスを崩して転落し、右手で体をかばったため、右手首を骨折した。	48	1	371	30 ～ 49
19	2020	3	10 ～ 11	事務所の入り口前で、片付け作業に従事中、地面が濡れていたため、足を取られ滑って転倒し、背中を打ち付けて腰部を打撲した。	73	2	417	10 ～ 29
20	2020	3	10 ～ 11	本社整備工場前、駐車場で、パワーショベルバケットのピニ脱落防止のボルト、ナットを2本のスパナで締め付けたとき、回り止めスパナが外れ、締め付け用スパナが勢いよく回り、体が不自然にねじられて、下半身、骨盤の関節を痛め、椎間板ヘルニアを発症した。	52	19	225	1～ 9
21	2020	3	9 ～ 10	工場内で建設機械クラッシャーのナット締め作業で、右手に台ハンマーを持ち作業中、手元が狂い大ハンマーの柄の部分パイプに当たって、右手第2中部骨を折り、人差し指打撲を負った。	64	3	521	10 ～ 29
22	2020	3	8 ～ 9	自動車整備工場で、10tダンプトラックの荷台裏面にスプレーガンを使用し、塗料を吹き付けて移動した際、足が滑り車台フレームの間に倒れ、右脇腹を強打し、右肋骨を折った。	41	2	221	1～ 9
				サービスセンター敷地内で、積載車の荷台を下げて商品車両を積み				

39	2020	5	19 ～ 20	大型車両のボディ工場内で、バス内部修理中、足下の床板が外れており、左足が床穴に落ち、バランスを崩し横向きに転倒した。その際、左脇腹を強打し、肋骨を折った。	51	1	416	～ 299
40	2020	5	16 ～ 17	大型車両の荷台部から部品を取り外し、外に出ようとして砂利の地面に飛び降りた際、着地のときに右足に体重が掛かり骨折した。	39	1	221	10 ～ 29
41	2020	5	10 ～ 11	当社工場内で、3tダンプの塗装前剥離作業中、上部のアオリが倒れ、右手母趾を蝶番に挟み、末節部に裂傷および骨折を負った。	46	7	221	10 ～ 29
42	2020	5	15 ～ 16	トランスミッションをダンプに戻すため、ユニック車のリモコン操作で吊り上げ組付作業中、被災者の方に揺れてきて、トランスミッションと車体のフレームに左足を挟まれ、左足踵に裂傷を負った。	62	7	211	1～ 9
43	2020	6	9 ～ 10	工場内で、トレーラーダンプの横アオリの差し枠を電気サンダーで切断中、差し枠と差し枠の間にサンダーの刃が挟まり、刃が割れて額に飛んできたため、裂傷を負った。	45	4	153	10 ～ 29
44	2020	6	13 ～ 14	チェンジャーでタイヤとホイールを外す作業中、チェンジャーのストッパーをタイヤチューブに併せて固定し、レバー調整をして圧を掛けた際、ストッパーとホイールの間に右手人差し指が挟まり、軍手を着用していたが、第一関節の半分程皮膚が破けて骨折した。	34	7	363	30 ～ 49
45	2020	6	14 ～ 15	工場内、25tラフタークレーン作業時、進入禁止区域用ポール立て製作中、丸棒の切削研磨を旋盤で、ゴム手袋をしたまま1人で作業をしていた。板ヤスリで研磨後、右手に布ヤスリを持ち丸棒のトップを研磨していたところ、ゴム手袋が回転に持っていかれ両腕が巻き込まれて、左腕、右手首と指を骨折した。	48	7	151	10 ～ 29
46	2020	6	15 ～ 16	工場内で、脚立に乗りバスの屋根の塗装作業を行い、終了後脚立から下りるとき、地面から2段目（約70cmの高さ）を踏み外し、地面に着地した際、足をひねり右側に転倒して左膝の内側を地面に強打して靭帯を損傷した。	60	1	371	10 ～ 29

47	2020	6	10 ～ 11	工場内で足場を使用し（高さ3～4m）ペンキ塗り作業中、コンクリートに落下し、頭部切創を負い、腰骨を折った。周囲には誰もおらず、どのような状況で落下したか本人もわからない状態である。	64	1	411	1～ 9
48	2020	6	4 ～ 5	工事で車のオイルネーターを交換作業中、ボトル1か所を付け直す際、エンジンを掛けた状態で作業をしたため、手袋がエンジン回転箇所巻き込まれ、指まで持っていかれて、左手中指と薬指を切断し、神経断裂を負った。	50	7	231	1～ 9
49	2020	6	11 ～ 12	トラックの洗車中、荷台より降りたときに右足をひねり捻挫した。	71	1	221	1～ 9
50	2020	6	9 ～ 10	道路沿いで積載車から車を降ろす作業中、何らかのトラブルがありうまく回避できず、頭部を強打して急性硬膜外血腫および顔面・足に切傷を負った。	58	1	221	1～ 9
51	2020	7	17 ～ 18	修理車の内張り取り付け作業時、クリップの位置を覗き込んで確認しながら内張りを左手で叩いていたところ、左手が右目に当たり、角膜剥離を負った。	48	19	719	30 ～ 49
52	2020	7	11 ～ 12	小麦乾燥施設内で、小麦を乾燥機から排出するためのベルトコンベアから小麦がこぼれないようにする修理作業中、状況確認のため動作中のベルトコンベアに近付いて、止めずに作業したため、手が巻き込まれ左腕を骨折した。	56	7	224	10 ～ 29
53	2020	7	16 ～ 17	工場で、バスの右後方タイヤハウス内部の、フレームの錆を落とすため、サンダー・エアチゼルなどを使用して作業中、保護メガネ（二眼型セーフティグラス）を着用し、その上から防災面も装着していたが、隙間から入ったと思われる破片が右目に混入した。	47	4	153	100 ～ 299
54	2020	7	10 ～ 11	修理工場内で、オイル交換作業中、ピットを出ようと振り向いた際、右頭部を壁に打ち、頭部慢性硬膜下血腫を負った。	76	3	418	1～ 9

55	2020	7	14 ～ 15	バイクで移動中、転倒し、右肩・両手に打撲、右足に捻挫を負った。	54	17	231	1～ 9
56	2020	7	11 ～ 12	自動車整備作業中、ハンマーで左手人差し指を強打して骨折・裂傷を負った。	27	6	364	1～ 9
57	2020	8	16 ～ 17	工場で、大型トレーラー修理作業を2人で行い、アオリのロックを外す際、下り始めたアオリの近くにいた被災者が右手を出して、右上腕に右外側上顆炎を負った。	21	3	221	50 ～ 99
58	2020	8	16 ～ 17	自動車販売会社より不要となった排気ダクトを中古品として購入し、自社の工場に設置するため、はしご（1.8m）に上って取り外し作業を行っていたところ、はしご上でバランスを崩し落下して左足踵に骨折の疑いが生じた。	45	1	371	1～ 9
59	2020	8	8 ～ 9	花壇に水やりをした後、社員出入口にある泥落としマットでつまずき、右足首を捻挫した。	35	19	417	1～ 9
60	2020	8	9 ～ 10	パワーゲートの油圧ホースを交換する際、ホースジョイントとパワーユニットの接続部が錆により固着していた。ジョイントを緩めるためにガスバーナーを使用して加熱したところ、ホースジョイントのカシメ部が破裂した。その際、ホース内に残ったオイルが気化してバーナーに引火し、顔面と頸部に火傷を負った。	34	11	512	1～ 9
61	2020	8	17 ～ 18	AT交換作業中、2名で作業しており、当社社員がエンジンルーム側から、被災者（派遣社員）が車体下部からミッションジャッキを使用して取り付けを行っていた。そのとき、ミッションがバランスを崩してジャッキから落下し、左頸部内出血、左下肢擦過傷を負った。	27	5	612	10 ～ 29
62	2020	8	10 ～	車の室内清掃中、解放されていた運転席のドアに右肩をぶつけて、	64	3	231	10 ～

			11	腱板断裂を負った。				29
63	2020	8	13 14	センター内で新車の装備部品点検中、別の作業員が40cm後方に駐車していた軽トラックのエンジンを始動させた。その際、ギアが1速に入っているのを確認せずにクラッチペダルから足を離したため、軽トラックが急発進し、被災者が車両と軽トラックに挟まれて、左大腿部に挫創を負った。	69	7	221	50 ～ 99
64	2020	8	9 10	センターのピット内で、商品車のグローブBOXにコードを通すため、穴を開けてカッターナイフで形を整えていた際、手元が滑って左手親指に切傷を負った。	49	8	364	10 ～ 29
65	2020	9	17 18	荷物を移動中、転倒して床にあった金属部品に手をついたときに、左手の平に切創を負った。	36	2	417	1～ 9
66	2020	9	16 17	塗装場前のプレス機で燃料タンクを潰しているとき、潰れたタンクがプレス機に挟まり、ボディに上ってタンクを外そうとハンマーで叩いていたところ、バランスを崩し、ボディの上から落ちた際、全体重が右足に掛かり、踵を骨折した。	59	1	154	10 ～ 29
67	2020	9	10 11	事業所敷地内で、バイクの納車に向かう際、エンストしてバランスを崩した。その際、バイクが右側に倒れ、右足を挟んで第5中足骨を折った。	54	2	231	1～ 9
68	2020	9	15 16	事業所内工場で、自動車整備の作業中、エアツールのホースが破損してジョイント部分が飛び、右眼に当たって結膜裂傷を負った。	51	4	159	30 ～ 49
69	2020	9	18 19	駐車場に生えた雑草に除草剤を散布中、ブロック塀に上がろうとして、足を滑らせ約2m下の路面に転落し、第1、3脊髄を骨折した。	63	1	419	1～ 9
70	2020	10	10	踏み台に上り、車の部品を取り付け中、転倒して肩を打撲し、肩甲	68	1	371	10 ～

			11	骨を折った。				29
71	2020	10	11 ～ 12	トラクターのタイヤにコンプレッサーによる空気注入作業中、チューブが破裂した際の音に驚き、よろめいて転倒して、地面に右手をついた際、骨折した。	38	2	719	1～ 9
72	2020	10	14 ～ 15	工場トラックの荷物キャリア取り外し中、左手人差し指を挟んで骨折した。	25	7	221	1～ 9
73	2020	10	18 ～ 19	物流センター内でスクーターを整備中、エンジンが掛かった状態で駆動系のプーリーに触れて、左手中指が巻き込まれ不全切断した。	22	7	121	30 ～ 49
74	2020	10	13 ～ 14	工場内作業場でホーシングからブレーキシューブラケットを取り外すため、エアインパクトレンチを利き手ではない左手に持ち、ナットを緩めていたところ、反対側のボルトが空転した。その際、回転しているボルトに右手で押さえつけ、回転物に対し不適切な軍手で作業したため、右手指先の軍手がボルトに絡まり、ブレーキシューブラケットの隙間に中指が巻き込まれ挫滅創を負い、骨折した。	22	7	169	30 ～ 49
75	2020	10	9 ～ 10	工場内で、10tトラックの車検作業中、15tガレージジャッキで車両をジャッキアップした際、ジャッキの掛ける位置が不適切であったため、ジャッキが外れ、車両が落下した。このとき、車両に押され、左距骨を折った。	44	6	361	30 ～ 49
76	2020	10	15 ～ 16	工場内で、軽トラックの塗装修理中、荷台から降りた際、左足関節外果骨折を負った。	53	3	417	10 ～ 29
77	2020	10	9 ～ 10	社内で、脚立（高さ60cm）に乗って、工場入口の蛍光灯を取り替えていた際、バランスを崩して転倒し、胸部を強打して第6～9肋骨を折った。	38	1	371	1～ 9
				路上で中型故障車（4t車）のレッキング作業中、Tバーで故障車を浮				

78	2020	10	14 ～ 15	かせ、タイヤ下にりん木を設置、りん木にタイヤが載った状態でT バーを離した。そのとき、故障車が動き出して、レッカー車との間 に頭部を挟まれ、頭部外傷による脳挫傷で死亡した。	48	7	221	10 ～ 29
79	2020	10	14 ～ 15	トラックのプロペラシャフトを取り外す際、メガネレンチを掛け先 端をハンマーで叩いて、ナットを緩めようとしていたところ、右手 小指先端を叩いて骨折した。	22	7	364	10 ～ 29
80	2020	10	9 ～ 10	工場ではバスの車検作業中、右フロントタイヤを取り外す際、ホイー ルドローリーの持ち手のバーが外れたためタイヤが倒れ、タイヤとホ ィールドローリーの間で右足が挟まれて挫傷を負った。	44	7	362	10 ～ 29
81	2020	10	15 ～ 16	小型移動式クレーンを用いて資材の整理中、足を踏みちがえ下段の 道に転落して、頭部打撲、腰椎・肋骨・足を剥離骨折した。	79	1	418	1～ 9
82	2020	10	17 ～ 18	工場内で、油圧ショベルのキャビンに鍵をかけ、ステップから地面 に降りた際、右手を手摺に挟み右手薬指第1関節に切傷を負った。	27	8	142	10 ～ 29
83	2020	11	10 ～ 11	工場内で車両のエンジンサイドカバー取り付け時、車両のエンジン が稼働中だったため、ファンベルトに右手が巻き込まれて親指、中 指の腱を損傷した。	40	7	121	10 ～ 29
84	2020	11	11 ～ 12	作業場で作業前の駐車している車の、距離計の確認のため、運転席 に座り確認後、大型ダンプの運転席から降りる際、乗降用のステッ プを踏み外し、コンクリートの地面に左側面より落下し、左大腿骨 骨折と左手首骨折を負った。	74	1	221	1～ 9
85	2020	11	18 ～ 19	ロードサービス業務で、故障で動かなくなった1.5tトラックをレッ カー車に積んで運搬したとき、一旦路上に降ろしたトラックを会社 の駐車場に入れるため被災者と別の従業員と一緒に手で押して作業 をしていた。その際、段差でなかなかトラックが動かず、強く足を 踏ん張って押していたため、右腓腹筋部分に断裂を負った。	53	19	921	10 ～ 29

86	2020	11	8 ～ 9	朝礼・ラジオ体操に参加するため工場内を歩行中、検査ピットを跨ごうとしたところ、バランスを崩して転倒した。その際、右目付近を地面に強打して骨折し、切創を負った。	62	2	419	～ 29
87	2020	11	15 ～ 16	作業場内で、タンクローリーのステップ滑り止め板片付け中、滑り止め板（鉄板、縦120cm×横210cm×厚み2.5mm、重量35kg）を作業員と持ち上げた際、重みに耐え切れず落下しそうになり、左足で受け止め、左膝に切傷を負った。	18	4	521	～ 29
88	2020	11	11 ～ 12	自動車整備工場で、コントロールミキサー車のシュートの鉄板張り替え作業中、シュート下部のピンを外す際、ロックレバーがかかっていなかったため内部のスプリングが飛び出し、反動でシュートコントロールが外れて右手薬指に当たり裂挫創、骨折した。	32	6	221	～ 29
89	2020	11	16 ～ 17	工場内作業通路で、顧客車両を洗車中、ワゴン車両の天井が高いため、脚立上で作業し左側に移動する際、足場がなく踏み外し、右橈骨遠位端を折った。	34	1	371	～ 29
90	2020	12	14 ～ 15	工場内で高所作業車の右後方ジャッキのシリンダーを抜く際、シリンダーが固着していたため、ガスバーナーで加熱し、十分な加熱後に加熱箇所に近いバルブを緩めた際、熱せられた作動油が勢いよく吹き出し、右手示指に裂傷、火傷を負った。	42	11	146	30 ～ 49
91	2020	12	9 ～ 10	車検場ピットに車両を停車させ修理作業中、助手席側から運転席側に移動しようとした際、足下がピット内に入り、体ごと落下し、右胸の肋骨を折った。	65	1	418	～ 29
92	2020	12	10 ～ 11	整備工場内で自動車修理作業中、左フロントのサスペンションのスプリングを取り外そうとしたところ、スプリングを圧縮し、固定していたストッパーが外れて顔面を直撃して右眼周辺を切り、右眼窩を骨折した。	56	6	521	1～ 9
93	2020	12	16 ～	駐車場で、タイヤ交換が終わったタイヤを倉庫に運ぶため、バンに積む作業中、タイヤを重ねるため、目の高さぐらいに、ホイールにキズが付かないように置こうとしたときに、肩から肘に激痛が走	50	19	911	～ 10

			17	り、右肩腱板断裂を負った。				29
94	2020	12	14 ～ 15	作業場で車両点検作業中に車両をリフトから降下させる際、足がリフト板の下にあるにも関わらずリフトを下げ、リフト板と地面の間に足を挟み、左第2中足骨を折った。	42	7	214	10 ～ 29
95	2020	12	10 ～ 11	車両サービスセンター内で作業中、別の作業者が入庫車両を作業場の近くに停車させ、完成車を出庫しようと車を離れた際、入庫車両のギアが入ったままになっており、動き出してしまった。そのとき、被災者が気付き車両へ向かいドアを開けてブレーキを左足で踏む際に、右足に無理な力が加わり、右膝内側側副靭帯損傷、右足関節外側靭帯損傷を負った。	38	3	231	100 ～ 299
96	2020	12	11 ～ 12	工場の大掃除のとき、工場内の下水溝の上にある鉄の網に股を大きく開いた状態で足を滑らせた際、腰の筋と軟骨に損傷および股関節に損傷を負った。	66	2	418	10 ～ 29
97	2020	12	13 ～ 14	工場の屋根上にあるフィルターを掃除するため、はしごを掛けて1人で登っていたところ、バランスを崩してはしごと共に倒れた。その際、左頬骨・肋骨・右橈骨を折り、頭部挫傷・歯牙損傷を負った。	36	1	371	1～ 9
98	2020	12	15 ～ 16	工場内で、2名でミッションジャッキを使いクラッチ交換中、ジャッキアームが下がるレバーに触れ、右腕がジャッキアームと土台の間に挟まれ、右肘部、右前腕に圧挫傷、外傷性神経麻痺を負った。	50	7	391	1～ 9
99	2020	12	10 ～ 11	工場構内の作業レーンで車両点検を行っていた際、前タイヤをスロープに乗せたところ、サイドブレーキや輪止めを実施していなかったため車両が後方に下がり、両足甲をタイヤに轢かれて圧挫傷を負った。	53	7	231	10 ～ 29

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。